

えひめ愛顔の子ども芸術祭2025 応募用紙

作品についての 作文

作品タイトル:

松聾手話小鉢

- ・ 1 作品あたり 3～5 分程度の手話によるパフォーマンスを 3 点披露します。
- ・ 手話による群読、落語、演劇 です。

私たちは、手話が身近ではない方々に、耳が聴こえない、聴こえにくい人の存在を知って欲しい、ろう者の言語である「手話」がその人にとって大切な言葉でありなくてはならないものだとすることを理解して欲しい、その想いを持って参加を決めました。

参加にあたり、3 分～5 分程度の小作品を準備します。

手話の群読は、今年の 2 月に松山市のこことばのがっしょう群読コンクールで披露したもので、富山ろう学校高等部の歌集「気動車」を耳で聞き目で見える「がっしょう」としてアレンジしました。手話演劇、手話落語については、現在練習中です。

どんな作品が披露できるか分かりませんが、いずれも、聴こえる人にも視覚言語である手話に親しみを持ってもらい手話で話してみようと思ってもらえるような、見る人にとっていろいろな味わいを楽しむことができる「小鉢」のようなパフォーマンスになればと思います。そして、今回のテーマである「森のいのち」のように昔々から今日まで受け継がれてきた手話の文化に、より多くのつながりが得られるように演じたいと思います。

※音楽を使用される場合は、著作権関係の取扱いをお願いします。

